

平成 22 年度 落葉果樹関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成 22 年度落葉果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成 23 年 1 月 31 日（月）に第一ホテル両国において開催された。

この検討会には、試験場関係者 35 名、委託関係者 16 名ほか、計 60 名の参集を得て、除草剤 2 薬剤(6 点)、生

育調節剤 4 薬剤(62 点)、展着剤 1 薬剤(2 点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成22年度 落葉果樹関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草劑

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の種類 新・雜の別	試験担当場所 ◇は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容													
1.SB-211 フラグナル 既知化合物A:20% 既知化合物B:2%	果樹 全般	作用性 新規	福岡 果樹苗木 (1)	<p>ねらい</p> <table border="1"> <tr><td>対象</td><td>一年生雜草・多年生雜草・バナ</td></tr> <tr><td>雜草</td><td>-一年生バナ 全般</td></tr> <tr><td></td><td>-一年生広葉 全般</td></tr> <tr><td></td><td>-多年生バナ 全般</td></tr> <tr><td></td><td>-多年生広葉 全般</td></tr> <tr><td></td><td>その他 バナ</td></tr> </table> <p>設計 薬量 (水量) /10a</p> <p>茎葉処理 雜草生育期(30cm以下) 500mL 750mL 1000mL <100L> 対) ランドアップ マックス-1⁺ 雑草生育期(30cm以下) 500mL <100L></p>	対象	一年生雜草・多年生雜草・ バナ	雜草	-一年生 バナ 全般		-一年生広葉 全般		-多年生 バナ 全般		-多年生広葉 全般		その他 バナ	殺草スベクトラム、薬害の確認	総 継)	効果、薬害の確認	
対象	一年生雜草・多年生雜草・ バナ																			
雜草	-一年生 バナ 全般																			
	-一年生広葉 全般																			
	-多年生 バナ 全般																			
	-多年生広葉 全般																			
	その他 バナ																			
[エス・ティー・エス ハイテック]		なし	適用性 新規	秋田果試 石川	<p>ねらい</p> <table border="1"> <tr><td>対象</td><td>一年生雜草・多年生雜草・バナ</td></tr> <tr><td>雜草</td><td>-一年生バナ 全般</td></tr> <tr><td></td><td>-一年生広葉 全般</td></tr> <tr><td></td><td>-多年生バナ 全般</td></tr> <tr><td></td><td>-多年生広葉 全般</td></tr> <tr><td></td><td>その他 バナ</td></tr> </table> <p>設計 薬量 (水量) /10a</p> <p>茎葉処理 雜草生育期(30cm以下)(春期及び夏期) 500mL 750mL 1000mL <100L> 対) バヌカ 雜草生育期(30cm以下) 500mL <100L></p>	対象	一年生雜草・多年生雜草・ バナ	雜草	-一年生 バナ 全般		-一年生広葉 全般		-多年生 バナ 全般		-多年生広葉 全般		その他 バナ	刈取り代用		
対象	一年生雜草・多年生雜草・ バナ																			
雜草	-一年生 バナ 全般																			
	-一年生広葉 全般																			
	-多年生 バナ 全般																			
	-多年生広葉 全般																			
	その他 バナ																			
2.SB-212 フラグナル 既知化合物A:20% 既知化合物B:3%	果樹 全般	作用性 新規	福岡 果樹苗木 (1)	<p>ねらい</p> <table border="1"> <tr><td>対象</td><td>一年生雜草・多年生雜草・バナ</td></tr> <tr><td>雜草</td><td>-一年生バナ 全般</td></tr> <tr><td></td><td>-一年生広葉 全般</td></tr> <tr><td></td><td>-多年生バナ 全般</td></tr> <tr><td></td><td>-多年生広葉 全般</td></tr> <tr><td></td><td>その他 バナ</td></tr> </table> <p>設計 薬量 (水量) /10a</p> <p>茎葉処理 雜草生育期(30cm以下) 500mL 750mL 1000mL <100L> 対) ランドアップ マックス-1⁺ 雑草生育期(30cm以下) 500mL <100L></p>	対象	一年生雜草・多年生雜草・ バナ	雜草	-一年生 バナ 全般		-一年生広葉 全般		-多年生 バナ 全般		-多年生広葉 全般		その他 バナ	殺草スベクトラム、薬害の確認	総 継)	効果、薬害の確認	
対象	一年生雜草・多年生雜草・ バナ																			
雜草	-一年生 バナ 全般																			
	-一年生広葉 全般																			
	-多年生 バナ 全般																			
	-多年生広葉 全般																			
	その他 バナ																			
[エス・ティー・エス ハイテック]		なし	適用性 新規	秋田果試 石川	<p>ねらい</p> <table border="1"> <tr><td>対象</td><td>一年生雜草・多年生雜草・バナ</td></tr> <tr><td>雜草</td><td>-一年生バナ 全般</td></tr> <tr><td></td><td>-一年生広葉 全般</td></tr> <tr><td></td><td>-多年生バナ 全般</td></tr> <tr><td></td><td>-多年生広葉 全般</td></tr> <tr><td></td><td>その他 バナ</td></tr> </table> <p>設計 薬量 (水量) /10a</p> <p>茎葉処理 雜草生育期(30cm以下)(春期及び夏期) 500mL 750mL 1000mL <100L> 対) バヌカ 雜草生育期(30cm以下) 500mL <100L></p>	対象	一年生雜草・多年生雜草・ バナ	雜草	-一年生 バナ 全般		-一年生広葉 全般		-多年生 バナ 全般		-多年生広葉 全般		その他 バナ	刈取り代用		
対象	一年生雜草・多年生雜草・ バナ																			
雜草	-一年生 バナ 全般																			
	-一年生広葉 全般																			
	-多年生 バナ 全般																			
	-多年生広葉 全般																			
	その他 バナ																			

B. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・維 の別	試験担当場所 <は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備考	判定	判定内容
1. AF-3 クン蒸成型 1-メチルシクロブロヘ ン: 0.628% (7.85mg a.i./錠(1.25g))	ナシ (あきづき)	適用性 新規	栃木 佐賀 果樹試 (2)	ねらい 貯藏性向上 設計 密閉容器内で暴露処理 収穫直後(24時間以内) 1000ppb (1錠/3.5m ³) /10a	・収穫後くん蒸処理 ・薬剤処理は常温下で12時間程度密閉状態を保持する	実 ・維	実) [日本ナシ(幸水、豊水): 収穫果実の貯藏性向上] ・収穫直後(24時間以内) 1000ppb (1錠/3.5m ³) ・専用の溶液ボトルに入れて発生する気体に密閉条件で12時間暴露
[*三井物産, Agrofresh Inc.]	ナシ (幸水)	適用性 維続	(独) 果樹研 埼玉 園研 長野 南信 福岡 佐賀 果樹試 (5)	ねらい 貯藏性向上 設計 密閉容器内で暴露処理 収穫直後(24時間以内) 1000ppb (1錠/3.5m ³) /10a	・収穫後くん蒸処理 ・薬剤処理は常温下で12時間程度密閉状態を保持する		維) ・効果、薬害の確認 (あきづき、新高、二十世紀)
	ナシ (新高)	適用性 新規	(独) 果樹研 栃木 (2)	ねらい 貯藏性向上 設計 密閉容器内で暴露処理 収穫直後(24時間以内) 1000ppb (1錠/3.5m ³) /10a	・収穫後くん蒸処理 ・薬剤処理は常温下で12時間程度密閉状態を保持する		
	ナシ (二十世紀)	適用性 新規	長野 南信 鳥取 園試 (2)	ねらい 貯藏性向上 設計 密閉容器内で暴露処理 収穫直後(24時間以内) 1000ppb (1錠/3.5m ³) /10a	・収穫後くん蒸処理 ・薬剤処理は常温下で12時間程度密閉状態を保持する		
	ナシ (豊水)	適用性 維続	(独) 果樹研 埼玉 園研 (2)	ねらい 貯藏性向上 設計 密閉容器内で暴露処理 収穫直後(24時間以内) 1000ppb (1錠/3.5m ³) /10a	・収穫後くん蒸処理 ・薬剤処理は常温下で12時間程度密閉状態を保持する		
	柿 (西条)	適用性 新規	鳥取 河原 (1)	ねらい 貯藏性向上 設計 密閉容器内で暴露処理 収穫直後(24時間以内) 500ppb (1錠/7m ³) /10a	・収穫後くん蒸処理 ・薬剤処理は常温下で24時間程度密閉状態を保持する	維	維) ・効果、薬害の確認 (富冓、前川次郎、西条、早秋、中谷早生、刀根早生、平核無)
	柿 (早秋)	適用性 新規	岐阜 福岡 (2)	ねらい 貯藏性向上 設計 密閉容器内で暴露処理 収穫直後(24時間以内) 500ppb (1錠/7m ³) /10a	・収穫後くん蒸処理 ・薬剤処理は常温下で24時間程度密閉状態を保持する		
	柿 (中谷早生)	適用性 新規	和歌山かきもと研 (1)	ねらい 貯藏性向上 設計 密閉容器内で暴露処理 収穫直後(24時間以内) 500ppb (1錠/7m ³) /10a	・収穫後くん蒸処理 ・薬剤処理は常温下で24時間程度密閉状態を保持する		
	柿 (刀根早生)	適用性 新規	新潟 園研 和歌山かきもと研 (2)	ねらい 貯藏性向上 設計 密閉容器内で暴露処理 収穫直後(24時間以内) 500ppb (1錠/7m ³) /10a	・収穫後くん蒸処理 ・薬剤処理は常温下で24時間程度密閉状態を保持する		
	柿 (平核無)	適用性 新規	山形 庄内 新潟 園研 和歌山かきもと研 鳥取大学 (4)	ねらい 貯藏性向上 設計 密閉容器内で暴露処理 収穫直後(24時間以内) 500ppb (1錠/7m ³) /10a	・収穫後くん蒸処理 ・薬剤処理は常温下で24時間程度密閉状態を保持する		
2. CX-10 液 ジナミド: 10%	げシク	適用性 新規 (自主)	愛知(施設) 福岡 豊前 (露地) (2)	ねらい 休眠打破による発芽促進 設計 立木全面散布 休眠期(12月を目安) 10倍希釈 <十分量> 15倍希釈 <十分量> 立木全面散布 休眠期(1月を目安) 10倍希釈 <十分量> 15倍希釈 <十分量>	・発芽時期、発芽数(発芽率)、最大発芽率までの到達期間、開花時期、開花数(開花率)、満開までの到達期間、結果開始時期、着果率、収穫時期の調査を希望	維	維) ・効果、薬害の確認
[日本カーバイト工業]	セ	適用性 維続 (H21)	山梨果試 和歌山かきもと研 岡山農試 香川農試府中 (4)	ねらい 休眠打破による発芽促進 設計 立木全面散布 休眠期(12月を目安) 15倍希釈 <十分量> 20倍希釈 <十分量> 立木全面散布 休眠期(1月を目安) 15倍希釈 <十分量> 20倍希釈 <十分量>	・発芽時期、発芽数(発芽率)、最大発芽率までの到達期間、開花時期、開花数(開花率)、満開までの到達期間、結果開始時期、着果率、収穫時期の調査を希望	実	実) [セモ; 休眠打破による発芽促進] ・休眠期 ・15~20倍(十分量) ・散布 注) ・花芽が枯死する薬害を生じる事がある

B. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 種・類 新・継 の 別	試験の 適用性 新規 (自主)	試験担当場所 <は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判 定	判定内容
3. KT-30S 液 ホルムアミド0.10%	ブドウ (オーロラ ブリッカ)	岡山 新規 (自主)	(1)	ねらい 花穂の発育充実 花房散布 展葉6~8枚時 設計 薬量 <水量> 1ppm <十分量> 2ppm <十分量> /10a 対) 無処理区	・開花当日の子房横 径、満開時の果房軸 長、輪径を調査する	実	実) ブドウ(巨峰、シャインマスカット、 ビオネ、オーロラブリック、瀬戸ジャイ ソ、マカットオーバルイオントリフ) 花 穂の発育促進] ・展葉6~8枚時 ・1~2ppm 1回 ・花房散布
[協和発酵バイオ]	ブドウ (瀬戸 ジャイブ リ)	岡山 新規 (自主)	(1)	ねらい 花穂の発育充実 花房散布 展葉6~8枚時 設計 薬量 <水量> 1ppm <十分量> 2ppm <十分量> /10a 対) 無処理区	・開花当日の子房横 径、満開時の果房軸 長、輪径を調査する		
	ブドウ (マカット オーバルイ オントリ フ)	岡山 新規 (自主)	(1)	ねらい 花穂の発育充実 花房散布 展葉6~8枚時 設計 薬量 <水量> 1ppm <十分量> 2ppm <十分量> /10a 対) 無処理区	・開花当日の子房横 径、満開時の果房軸 長、輪径を調査する		
	日本シジ	作用性 新規	板木 研 岐阜 (3)	ねらい 切り口及び傷口のゆ合促進 設計 薬量 <水量> 10a 剪定後の切口に散布 剪定時及び病害前削り取り直後 ①20ppm <十分量> 處理後有機銅塗布剤を塗布 ②20ppm <十分量> 處理後木工用ボンドを塗布 ④50ppm <十分量> 處理後木工用ボンドを塗布 対) ナツベーリングペースト剤 偏行 対) 有機銅塗布剤 偏行	・木本散布後、保護 剤(材)塗布 ・切り口、カルス形 成幅を調査する	-	(作用性)
4. ジベレリン 水溶 ジベレリン3.1%	ブドウ (巨峰)	作用性 新規	山梨果試 (1)	ねらい 無種子化、果房伸長促進 設計 薬量 <水量> /10a 花房浸漬→果房浸漬 満開2日前→満開10~14日後 25ppm+KT2.5ppm → 25ppm 満開2日前→満開 3~ 5日後 25ppm+KT2.5ppm → 25ppm+KT10ppm 満開14日前→満開10~14日後 25ppm+KT2.5ppm → 25ppm 満開14日前→満開 3~ 5日後 25ppm+KT2.5ppm → 25ppm+KT10ppm	・1回目早期処理 ・ホルムアミド加用 ・着粒密度、着粒数、 房重、一果粒重、着 色、糖度、酸度を調査 する	-	(作用性)
[協和発酵バイオ]	ブドウ (ビオ ネ)	作用性 新規	山梨果試 (1)	ねらい 無種子化、果房伸長促進 設計 薬量 <水量> /10a 花房浸漬→果房浸漬 満開2日前→満開10~14日後 25ppm+KT2.5ppm → 25ppm 満開2日前→満開 3~ 5日後 25ppm+KT2.5ppm → 25ppm+KT10ppm 満開14日前→満開10~14日後 25ppm+KT2.5ppm → 25ppm 満開14日前→満開 3~ 5日後 25ppm+KT2.5ppm → 25ppm+KT10ppm	・1回目早期処理 ・ホルムアミド加用 ・着粒密度、着粒数、 房重、一果粒重、着 色、糖度、酸度を調査 する	-	(作用性)
	ブドウ (群 系 2 倍 体 (黄 華))	適用性 新規 (自主)	長野果試 (1)	ねらい 無種子化、果粒肥大促進 設計 薬量 <水量> /10a 果房浸漬 満開3~5日後(落花期) 25ppm+KT10ppm 対) 各県の慣行処理に準ずる	・ホルムアミド加用 ・着粒密度、着粒数、 房重、一果粒重、糖 度、酸度を調査する	総 総)	・効果、葉害の確認
	ブドウ (欧 州 系 2 倍 体 (オ クシ ンクシ ー))	適用性 新規 (自主)	(独) 果樹研 石川 砂丘地 山梨果試(H21) 長野果試 (4)	ねらい 無種子化、果粒肥大促進 設計 薬量 <水量> /10a 果房浸漬 満開3~5日後(落花期) 25ppm+KT10ppm 対) 各県の慣行処理に準ずる	・ホルムアミド加用 ・着粒密度、着粒数、 房重、一果粒重、糖 度、酸度を調査する		
	ブドウ (欧 州 系 2 倍 体 (ナ イトル チ))	適用性 新規 (自主)	(独) 果樹研 山梨果試(H21) 長野果試 (3)	ねらい 無種子化、果粒肥大促進 設計 薬量 <水量> /10a 果房浸漬 満開3~5日後(落花期) 25ppm+KT10ppm 対) 各県の慣行処理に準ずる	・ホルムアミド加用 ・着粒密度、着粒数、 房重、一果粒重、糖 度、酸度を調査する		
	ブドウ (欧 州 系 2 倍 体 (瀬 戸ジャ イブリ))	適用性 新規 (自主)	山梨果試 岡山 (2)	ねらい 無種子化、果粒肥大促進 設計 薬量 <水量> /10a 果房浸漬 満開3~5日後(落花期) 25ppm+KT10ppm 対) 各県の慣行処理に準ずる	・ホルムアミド加用 ・着粒密度、着粒数、 房重、一果粒重、糖 度、酸度を調査する		
	ブドウ (欧 州 系 2 倍 体 (ナ イトル チ))	適用性 新規 (自主)	石川 砂丘地 (1)	ねらい 無種子化、果粒肥大促進 設計 薬量 <水量> /10a 果房浸漬 満開3~5日後(落花期) 25ppm+KT10ppm 対) 各県の慣行処理に準ずる	・ホルムアミド加用 ・着粒密度、着粒数、 房重、一果粒重、糖 度、酸度を調査する		

B. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	試験の 種類 新・総 の別	試験担当場所 ◇は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備考	判定	判定内容
ジベリン 水溶 つけき	ブドウ ((ハニーピーナス) 有核栽培 培)	適用性 新規 (自主)	石川 砂丘地 宮崎 (2)	ねらい 果粒肥大促進 設計 薬量 <水量> /10a 滴開10日後 25ppm 滴開20日後 25ppm 対) 無処理区	・着粒密度、着粒数、 房重、一果粒重、糖 度、酸度を調査する	総 総	・効果、葉害の確認
桃 (中秋)	適用性 継続	奈良 果樹セ	(1)	ねらい 落果防止 設計 薬量 <水量> /10a 50ppm 100ppm 200ppm 対) 自然受粉区 参) 花粉遮断区	・低薬量への拡大 ・摘果前の着果率を 調査する ・必要に応じて無受 粉区(袋かけ)を設定 し単為結果率を調査 する	実	実) [特; 落果防止] ・満開10日後 ・50~200ppm(十分量) ・幼果およびへたに散布 ・効果の確認された品種; 富有、甘秋、新秋、早秋、太秋
桃 (新秋)	適用性 継続	岐阜 奈良 果樹セ	(2)	ねらい 落果防止 設計 薬量 <水量> /10a 50ppm 100ppm 対) 自然受粉区 参) 花粉遮断区	・低薬量への拡大 ・摘果前の着果率を 調査する ・必要に応じて無受 粉区(袋かけ)を設定 し単為結果率を調査 する	実	富有、甘秋、新秋、早秋、太秋
桃 (太秋)	適用性 継続	岐阜 奈良 果樹セ 宮崎	(3)	ねらい 落果防止 設計 薬量 <水量> /10a 50ppm 100ppm 対) 自然受粉区 参) 花粉遮断区	・低薬量への拡大 ・摘果前の着果率を 調査する ・必要に応じて無受 粉区(袋かけ)を設定 し単為結果率を調査 する	実	富有、甘秋、新秋、早秋、太秋
スモモ (黄陽)	適用性 新規	島根 福岡 佐賀 果樹試 熊本 果樹研 (自主; H21参考) 熊本 果樹研 (自主; H21参考) 山梨果試 (自主; 参考) (2)	ねらい 着果安定 設計 薬量 <水量> /10a 滴開期果そう散布→果実散布 滴開期→滴開20日~25日後 50ppm→50ppm <十分量> 100ppm→100ppm <十分量> 滴開期果そう散布→果実散布(→摘果) 滴開期→滴開20日~25日後 50ppm→50ppm <十分量> 100ppm→100ppm <十分量> 対) 人工授粉区	・最終結果確認後の 着果率(着果数/處理 花数)、着色、果実重、 果肉硬度、果径、糖 度、酸度を調査する	総 総	・効果、葉害の確認	

C. 展着剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	試験の 種類 新・総 の別	試験担当場所 ◇は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備考	判定	試験された内容
1. マリノー 水溶液 ボアラキシングリコールアミド エーテル: 27.0%	ブドウ (巨峰)	適用性 新規	栃木 山梨果試 (2)	ねらい 効果安定性、葉害確認 設計 薬量 <水量> /10a 立木全面または枝別散布 新梢展開葉7~ 11枚時 0ml/10L(散布液)<十分量> (無加用区) 0.5ml/10L(散布液)<十分量> 2. 0ml/10L(散布液)<十分量> 4. 0ml/10L(散布液)<十分量>(倍量葉隠蔽区)	・フラー液500倍液 (散布液量100~ 150L/10a)への加用 ・着粒増加・新梢伸 長抑制	-	[ブドウ(巨峰); 着粒増加、新梢伸 長抑制] ・新梢展開葉7~11枚時 ・0.5~2.0ml/L散布液10L (フラー液500ppm<100~150L>/ 10a)に加用 ・立木全面または枝別散布